

AED

自動体外式除細動器



自動体外式除細動器

Cardiac ResQ

カーディアックレスキュー RQ-6000

AEDで救えるいのちがある

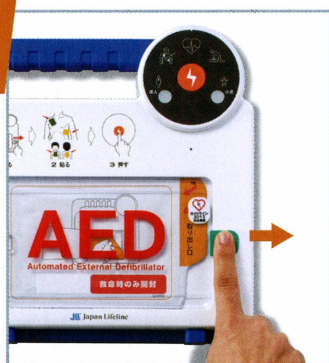
JLE Japan Lifeline

直感的な素早い操作を可能とした シンプルデザイン

電源 ON は電源スイッチをスライドし、カートリッジカバーを開くだけです。
起動後は音声案内と進捗を表すランプ、操作手順を示すイラストで
どなたでも簡単に使用できるよう設計されています。

3 STEPS 簡単操作

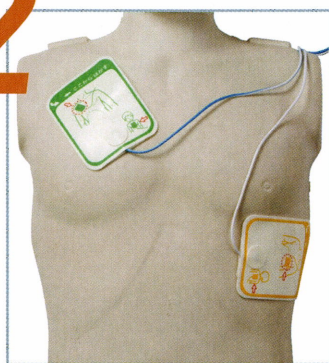
1



電源を入れる

電源スイッチを右方向へスライドさせ
カーディアックレスキューを
起動させます。

2



電極パッドを貼る

電極パッドのイラストと
同様の位置へ貼ります。

3



電気ショックを行う

カーディアックレスキューの音声案内に
従い、電気ショックが必要な場合は
電気ショックボタンを押します。

心肺蘇生法(CPR)コーチング機能搭載



電気ショック後は必要に応じて心肺蘇生を行います。

胸骨圧迫のタイミングを示すピープ音と共に、CPRランプが1分間に110回※¹のテンポで点滅します。

また次の心電図解析までの残り時間を音声でお知らせします※²。

※¹ JRC (日本蘇生協議会) 蘇生ガイドライン準拠。ガイドラインでは胸骨圧迫のテンポを1分間に100回から120回と規定しています。

※² 心電図解析は2分毎に行われます。

直ちに胸骨圧迫を
始めてください

音にあわせて
胸骨圧迫を
してください

できるなら
人工呼吸も
行ってください

